ボランティアをお願いしたい

依頼するにあたり、活動者が見つかるまでに十分な余裕を持ってお願いします。
まずは依頼したい内容を、ボランティアセンターへご相談ください。

個人の方からの依頼やご相談　【一例】

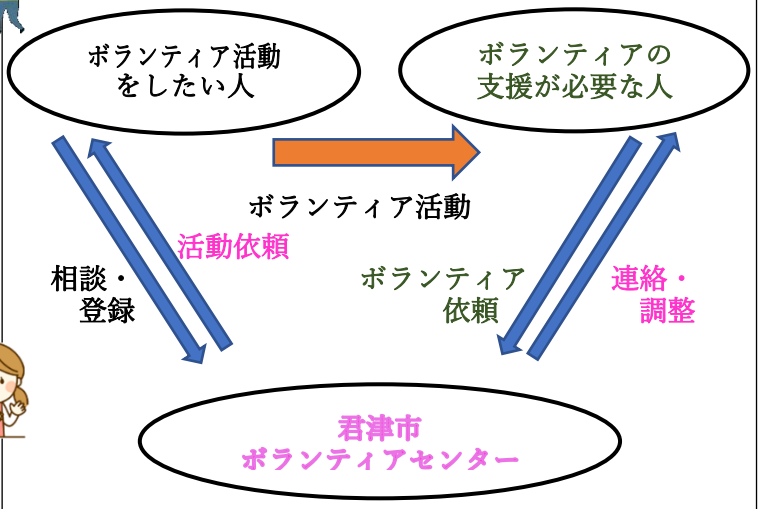
- 視覚障がい者の方から、外出は(通院等)不安なので付き添いを、書籍や広報誌を音訳・点訳してほしい
- 車いすで外出する際の介助してほしい
- 障がい者のバスハイク・グラウンドゴルフやボウリング大会での介助してほしい　等

施設・団体方からの依頼やご相談　【一例】

- 施設での行事サポートボランティアをお願いしたい（演芸披露・お誕生日会・クリスマス会など）
- 施設での催しやバザー等の行事を手伝ってほしい（会場の設営、後片付けなど）
- 講演会や勉強会参加者の子供の保育をお願いしたい
- 市役所内での販売のサポートをしてほしい
- 学童等で子供達に将棋や昔遊び、折り紙等の指導　等

ボランティアセンターへ依頼

依頼内容に沿ったボランティアの方（グループや個人）に連絡・調整し、活動となります。



ボランティアセンターに依頼する時の留意点・心がけ

ボランティアの方々は、職業として活動しているのではありません。自発的に「自分のできる範囲で、何かお手伝いできることがあれば…」といった気持ちを持って活動してくださっています。

- 学生や勤め人の方、主婦の方、定年退職後の方など様々な方がおられます。
- 危険を伴う活動は依頼できません。

依頼するには活動者が見つかるまでの十分な余裕をお願いします。
ボランティアが見つかり、実際に活動する際には「ありがとう」の気持ちをお伝えいただければと思います。

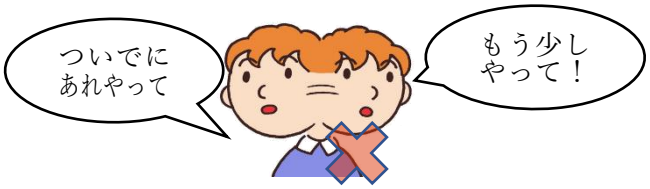
- 必ず見つかるとは限りません

- 安価な労働ではありません

無償ではありますが、ただ働きではありません

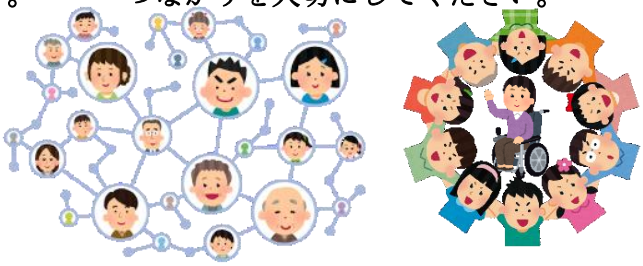
活動を通じて社会への貢献、他者への繋がりや出会い、ふれあいを…

- ボランティアの意思や都合も尊重してください。



ボランティアの意見や活動時間帯等の都合についても可能な範囲で配慮をしてください
依頼時の活動内容・活動時間内でお願いします

- つながりを大切にしてください。



新たな繋がりへ広がって行く事も魅力の一つです